

テロによる密かな世界征服が、そもそも原理的に可能か？

共産主義者は可能と信じてきた：今その絶望的な実験をしている

Greatchain

2020/08/10

この時代の分析として、このような題と副題を私はつけてみた。一方、SOTN の最新のタイトルは、「いよいよ全開となった共産主義プロット——警告者がその計画を暴く」“It’s a Full-Blown Communist Plot”—Whistleblower Reveals the Plan というものである。

何が「全開」full-blown かといえば、そのキチガイぶりが全開である。これは前稿で十分に論じた通りである。

共産主義者たちがありうると信じてきた究極の理想世界とは何か？ それは New World Order とも、One World Government とも呼ばれる。そして特に、ブッシュ親子が秘密めかしてこれを強調した。子ブッシュは、ヤラセの9・11を指して、「テロリズムは許さぬ。テロ撃滅を選ぶか、我々を選ぶか、どちらかだ」と言った。そして、世界中のほとんどの人が、我々日本人も含めて喝采した。そしてほとんどの人が、その本音がどこにあるのかを知らなかった。

SOTN 論文の一部にこのような写真が出ている。これは重要なので強調したい。



「本当は、彼らは私をつけ狙っているのではない。彼らは〈あなた〉をつけ狙っている。私はただ、邪魔になっているだけだ。」

もちろん、これはトランプ自身の言葉ではない。トランプに言わせた SOTN の言葉である。「トランプが危ない、彼はいつ暗殺されるかわからない」——というのは本当である。反トランプの民主党や BLM、Antifa や、ヒラリーやオバマなどは、いつそれを実行するかわからない。しかし、「彼ら」が狙っているのは「あなた」、すなわちアメリカの民衆、本当を言えば地球人全体である。

アメリカ人は、「そんなはずはない、我々は戦争になれば、ちゃんとアメリカを応援するではないか？」と口をとがらせて抗議し、日本人も、ほぼ同じ意識をもっているだろう。しかし共産主義というものはそういうものではない。それは国籍のない「グローバリズム」であって、民族主義ではない。そして、その限りにおいて、我々が同胞として信頼している、いわゆる主流メディアも「グローバリスト」であり、究極的には我々を狙うかもしれない。現在、我々が、よく自覚せずに直面している危機は、そのような「グローバリズム」にある。そして「グローバリズム」は当然ながら、戦闘的無神論である（無神論は科学の帰結などではない）。だから彼らは、自分たちの宗教でないものを、「カルト」と呼んで蔑んでいる。

我々の間に、そして私の知る限り学生の間にも、何となく浸透しているのは、「やはりトランプが悪いんじゃないの？」という意識である。これは、そのように仕向けるメディアのせいである。あのユーゴスラビア女性のように、自らの体験を通じて、共産主義の恐ろしさを強調し、「ゴッド・ブレス・トランプ」と、心から支援する人は、我々の間にはほとんどいない。はっきり言えば、アメリカ人も我々も、事態の深刻さを知らないでいる。

ここで、NeonNettle の今日のニュースを、そのまま紹介することにするが、これも翻訳が困難というだけでなく、すべてが違法になっている。ID 理論のように、そんなものは知らないと言えば、偉いと褒められる。

August 9, 2020 @NeonNettle

警察支持の抗議者たちが、身体不自由な老兵が襲われたのを見て、Antifa メンバーを殴打：——アンティファのメンバーが、車椅子の男性に襲い掛かるのを見て、警察支持の抗議者たちから狂暴な反応が起こった

警察支持のデモ隊が、極左のアンティファ・メンバーを殴打したと言われ、それは、後者が車椅子の老兵を襲ったからだと言われている。



コロラド州フォートコリンズで、警察支持のラリーが行われていたとき、数十人の警察支持の抗議集団が、アメリカ国旗を手にもって車椅子に乗った、ある老兵の脇を歩いていた。

何かの人々の報告によると、アンティファ隊が車椅子の男性の後を追った。それがきっかけとなって、警察支持抗議団からの凶暴な反応が起こったのだという。

あるビデオで、警察支持抗議団の何人かが報告しているところによると、この地域で、一人の子どもの誕生パーティがあり、極左活動家たちが、その妨害をしたのだという。

このビデオの別の場面では、ある男性が、極左活動家たちに向って、「お前たちがこの建物から立ち去るなら、我々は出ていく」と言っている。・・・

この「狂暴な殴打」によって、人が死んだのかどうかはわからないが、何人かが倒れているのは確かである。これは、どちらの側に非があったのか、なかったのかも、被害者か加害者かも、全くわからない。こういう悲劇が起こったことだけが、事実として残る。

これは共産主義者の昔からの常套作戦である。互いに喧嘩をさせ、敵意をもたせ、その不和を治める体にして、グローバリストが権力を把握する。これは「(故意の) 混乱から秩序へ」 Order out of Chaos として、ほとんど公式化されている。しかしそれも、だまし戦術やプロパガンダが、だんだん不可能になってくるにつれ、ほとんど暴力によって強制するより方法がなくなった。「集会禁止の COVID 命令を聞かねば、水道も電気も止める」という暴力がそれである。

以下、ほとんど一日分のニュース見出しを、わずかに修正して載せることにする。想像力で理解していただきたい：——

*ペロシが、米労働者を援助するというトランプの大統領令をわらう：馬鹿々々しく、反憲法だ

*シェール（歌手）：トランプは「16万人のアメリカ人を拷問し殺した」

*Bill Maher: ビル・クリントンが、エプステーンの「ペドファイル島を訪問した可能性は高い」

*トランプが、民主党は、コロナウィルス援助法案を利用して、「選挙を盗もうとしている」と告訴

*ニューヨーク州議員が、ヒドロキシクロロキン (HCQ) の COVID 治療効果を保証

*トランプ：ポートランドの暴徒は、「本当に病的で狂った人々だ」

*アダム・シフ：中国でなく、ロシアが 2020 米選挙を支配している

*バー司法長官：左翼は「ゲリラ戦を用いて」共産主義をアメリカに強制している

——以上